

18F-FDG PET検査の説明および同意書（診療用）

検査内容

正常細胞に比べ、増殖盛んな「がん細胞」はたくさんのブドウ糖を細胞内に取り込み消費します。ブドウ糖が他の臓器よりも多く集まる場所を突き止め、「がん」などの悪性疾患を発見するのがPET検査の仕組みです。

薬剤注射後、約一時間程度安静待機していただき、その後20分程度の撮像を行います。必要があれば、更に、20分程度の撮像を行うことがあります。検査時の苦痛等はありません。

禁忌事項

- ・検査5時間前より絶食してください。（糖分を含まないコーヒー・お茶等は可）
- ・前日および当日の激しい運動は避けてください。
- ・歯の治療、針、マッサージ、予防接種など薬剤が異常集積する場合がありますので事前にお申し出ください。
- ・閉所恐怖症の方はあらかじめお申し出ください。
- ・重度の糖尿病、人工透析、パーキンソン氏病、振戦、アテトーゼ等の方はこの検査を受けることが出来ない場合がありますので、かかりつけ医の先生とご相談ください。
- ・生理中や妊娠の可能性のある方。

副作用

PET検査では、放射性薬剤を用いますが被ばく線量は胃透視検査より少なく、また薬剤の副作用は殆どありません。

保険適用

保険適用となる疾患および内容は定められており、それに該当しない場合は適用外となります。（主治医の先生とよくご相談ください。）

補足事項

PET検査は、全ての疾患に有効ということではなく、腎臓・膀胱など薬剤の排泄経路となる尿路系では判断が難しい場合や、肝臓・胃・前立腺などでは他の検査の方が有効な場合があります。また、小さな腫瘍（数ミリ以下）や糖代謝の亢進しない一部の腫瘍は発見されない可能性があります。

以上の通り説明を行い同意を得ました。

主治医（またはかかりつけ医師） _____ 印

PET検査について説明を受け、目的・内容につき理解し検査を受けることに同意いたします。

平成 年 月 日

氏 名 _____ 印

*本人が未成年者、意識障害者等で署名できない場合は、親権者または扶養義務者が署名を行ってください。